

## 野母崎地区意見交換会の概要

期 日 平成23年7月24日

場 所 野母崎文化センター

出席者 地元から7名

少ない参加者で、かつ、県政・市政入り混じった内容ではありますが、野母崎地区住民が日常生活の中で、おおよそ考えまた感じておられることについて、率直な意見交換がなされました。出された意見を踏まえて、今後必要な具体的な取り組みを行っていく所存です。

### 意見1

- ・ 市は事業費3億円で高浜海水浴場の施設整備を予定しているが、入り口が不便であり、かつ全体の魅力度アップのためのロケーションとしては、田の子一体の海岸の整備の方が他の施設配置とも相まって良いのではないかと思う。
- ・ また水仙公園が集客の訴求力としていま一步弱いのではないか。開花の時期とツアー達成の時期が必ずしも一致しないことなど難点もあり、水仙だけでは勿体ない。全体としてのブラッシュアップの方策を検討すべきである。

### 意見2

- ・ 合併時、合併すれば財政状況が良くなるといった合併のメリットばかりが強調されたが、現実として合併して良かったということが殆どない。むしろ不便・不自由さを感じる人が多い。

地元に残った行政センターの職員に予算の執行権や一定の事務処理権限を与えて、主体性を持たせてもらいたい。

野母崎・三和の県議・市議が力を合わせて訴えていけば、いろいろな成果が出ると思う。

### 意見3

- ・ 脇岬海水浴場や野母崎中学校の松が松喰虫のために枯れかかっている。市で薬剤散布を。
- ・ 市道・農道の草刈が長崎市編入後大変手薄になって、利用に支障が出ている。2班体制で。
- ・ 自治公民館の維持補修費や運営費について、合併前のように補助制度を設けてもらいたい。
- ・ 今後、合併浄化槽の管理を個人で負担するようになると聞いているが、個人ではとても負担が大きい。
- ・ グランドの使用料など市は料金を徴ることばかりを考えているが、そのために利用が少なく荒れている箇所が少なくない。改善が図れないか。

### 意見4

- ・ 消防団活動は良くやっておられるが、その他に若い人達の団結力と主体的な地域活動が少ないように思える。もっと意識を醸成し、ふるさとのために連携して活動を起こせる取り組みが出来ないか。
- ・ 例えば水仙公園に住民が植栽をすとか、運動会や遠足を地区住民でやるとか草刈作業をもっと頻繁に住民がやり、それに行政が一定の財政支援を行うとか、住民のヤル気や主体的な取り組みを助長する方策がとれないか。

- ・ 南野々串地区には子どもが一人もいない。最年少者は53才。あと10年もすると半分以上が空家になる可能性がある。地区の活性化策を講じるべきだ。

## 意見5

- ・ 市営住宅の入居者の表示がなく、地元自治会との連携が図れない。せめて自治会長には入居者の連絡を行政センターからして欲しい。
- ・ 図書館の蔵書が少なく、せめて三和の図書館並みにして欲しい。
- ・ NTTの光ケーブルが野母崎には地区によって敷設されていない。整備について働きかけて欲しい。

## 高比良から

- 1 野母崎高校の跡地活用策について、中学校の一時利用期間中に策定する必要がある。活用策がみつからなければ県教委の売却処方を傍観するだけになる。長崎南商業の跡地活用策について、地元茂木地区では振興協議会を立ち上げ、種々県・市と協議している。  
野母崎でも茂木の例に習った取り組みが必要であり、自治会長さん等と相談したい。
- 2 国道499号の栄上工区（平山台入り口～三和栄上交差点間）1.3kmは全体事業費35億円で平成27年度完成予定で改良事業を実施する。本年度工事着工。  
岳路工区は黒浜迄の未改良区間を含めた岳路・黒浜工区、延長2.1kmを全体事業費25億円で一体的に改良することになった。平成28年度完成予定で本年度用地買収を行う。
- 3 県の亜熱帯植物園のあり方の見直しが必要になっている。  
平成22年度の入園者数は約41,700人で平成10年ピーク時の3分の1、このうち県外からの観光者の入園は約20%。  
収入は3,200万円（入場料1,400万円、売店レストラン売上1,800万円）、支出（県の委託費）は8,200万円（人件費4,300万円、管理費3,000万円、仕入費900万円）差引き5,000万円の赤字経営。  
県は植物園のあり方を根本的に見直すための委員会を設置する考えであるが、野母崎高校の跡地活用策と同様、地元から意見を述べられるような機会を設ける必要がある。  
これも自治会長さん等と相談したい。
- 4 この他、野母崎診療所の安定的な運営や診療科目の拡充、小学校跡地の活用策、水産業の振興等による雇用確保や脇岬埋立地の活用策、権現山公園等の活用による交流人口の拡大方策等、野母崎地区の振興に取り組まなければならない課題は多い。  
地区の総力を挙げて頑張る時。

以上